

おかや音楽協会の「オペラに親しむ会」(佐原武部会長)が主催する第3回「すわびとオペラ旅」が来年2月23日、岡谷市カノラホールで開かれる。プロのソリストと地元有志の合唱団が共演する舞台上、今回は名曲のアラカルトとイタリアオペラを代表する作曲家プッチーニの「ラ・ボエーム」ハイライトを披露。より多くの人にオペラを楽しんでもらおうと初の昼夜2回公演に挑む。本番を見据え、今月から合唱団の練習がスタート。協賛金やスタッフの募集も始まっている。(堀木俊典)

## すわびとオペラ旅



第3回「すわびとオペラ旅」をPRする関係者

御柱年に開くオペラ「御柱」の次回公演(2022年)の成功につながるため、オペラを身近に感じてもらう機会を提供しようと、17年度から開いている。第2回公演ではプッチーニの「トスカ」をダイジェスト版で披露したが、今回は「かなり時間をかけてオペラを聴いてもらう計画」(佐原部会長)といい、「ラ・ボエーム」を全4幕中の3幕上演する。舞台には地元ゆかりの音楽家を含むソリスト8人をはじめ、小学生から一般までの合唱団員30人余と歌い手以外の

# 来年2月23日に第3弾

## おかや音楽協会 初の昼夜2回公演

キャストを含めた総勢約50人が出演予定。舞台監督の山岡泰一郎さん(岡谷市)は「これまででは歌の要素をメインにしてきたが、今回は芝居の要素を見せられるように工夫していく」と話している。舞台には客席に見えるように字幕を設け、案内役の出演者がオペラを分かりやすく解説する教養講座も準備している。脚本を担当する音楽家の渡辺しおりさん(岡谷市)は「オペラは決して難しくなく、面白いものだとこのことを多くの人が知ってもらいたい」と意気込む。

チケットは前売り2000円(小中高生1500円)、当日2500円(同2000円)。21日からカノラホールなどで販売する。協賛金は1口1000円で受け付ける。問い合わせは佐原部会長(電話0266・22・9624)へ。

## 樹脂で固めた「記憶の標本」

岡谷 画家陽草さん(千葉)個展



千葉県在住の画家、陽草斗斗さん(24)の個展「Others」は20日から岡谷市銀座の石崎一朝さん宅に隣接する空き家で開催している。風景、人物をボールペンでトレースングーパーに描き、樹脂で固めた作品「記憶の標本」8点を展示。1日1枚描くペースの公開もあり、多くの来場を呼び掛けている。23日まで、陽草さんは美術専門学校卒業。現在は絵画教室講師の傍ら、音楽に合わせて踊りながら、音楽を描くライブペイント作品の創作を中心に活動している。樹脂で固めたデッサンの「記憶の標本」は、見た人が「どこかで見たことがある」と思うような風景を描いているという。11月に展示会場の下見に訪れた際、市内を歩いて見つけた風景も取り入れた。インターネット交流サイト(SNS)で石崎さんと知り合ったことから、個展を開く運びになった。「ギャラリーよりも誰かの記憶がある所の方が面白い。自分にとって新たな試み」と陽草さん。今までは

界に触れられる機会。ここにしかないものが表現できていると思う」と話している。時間は午前10時から午後4時(最終日は同3時まで)。入場無料。問い合わせは家主の石崎さん(電話080・1279・4789)へ。(宮崎佳奈)

小学生女子チーム 創設へ22日説明会 岡谷市ソフト協 岡谷市ソフトボール協会(小松社会長)は22日午前10時から、小学生女子ソフトボールチームの創設に向けた保護者説明会を同市勤労青少年ホーム1階講習室で開く。今後、岡谷、下諏訪両市の女子児童を中心としたチームを編成する考え。(23日8時)へ。(堀木俊典)

女子ソフトボールの底辺拡大に向け、小学生チームの発足を目指す同協会。11月には女子児童対象の体験会を初めて開き、ソフトボールの魅力を紹介している。体験会後のアンケートでは半数以上の参加者が「今後も続けていきたい」と回答したといい、改めて選手を募ることにした。募集対象は小学1〜6年生の女子児童。募集地域は限定せず、希望者は全て受け入れられる。練習日は毎週土、日曜日。来年1月中旬からの活動を予定しており、女子ソフトボール経験者が指導する。説明会は事前申し込み不要参加自由。問い合わせは小松会長(電話090・3400・2385)へ。(堀木俊典)

を展示。1日1枚描くペースの公開もあり、多くの来場を呼び掛けている。23日まで、陽草さんは美術専門学校卒業。現在は絵画教室講師の傍ら、音楽に合わせて踊りながら、音楽を描くライブペイント作品の創作を中心に活動している。樹脂で固めたデッサンの「記憶の標本」は、見た人が「どこかで見たことがある」と思うような風景を描いているという。11月に展示会場の下見に訪れた際、市内を歩いて見つけた風景も取り入れた。インターネット交流サイト(SNS)で石崎さんと知り合ったことから、個展を開く運びになった。「ギャラリーよりも誰かの記憶がある所の方が面白い。自分にとって新たな試み」と陽草さん。今までは

を展示。1日1枚描くペースの公開もあり、多くの来場を呼び掛けている。23日まで、陽草さんは美術専門学校卒業。現在は絵画教室講師の傍ら、音楽に合わせて踊りながら、音楽を描くライブペイント作品の創作を中心に活動している。樹脂で固めたデッサンの「記憶の標本」は、見た人が「どこかで見たことがある」と思うような風景を描いているという。11月に展示会場の下見に訪れた際、市内を歩いて見つけた風景も取り入れた。インターネット交流サイト(SNS)で石崎さんと知り合ったことから、個展を開く運びになった。「ギャラリーよりも誰かの記憶がある所の方が面白い。自分にとって新たな試み」と陽草さん。今までは

を展示。1日1枚描くペースの公開もあり、多くの来場を呼び掛けている。23日まで、陽草さんは美術専門学校卒業。現在は絵画教室講師の傍ら、音楽に合わせて踊りながら、音楽を描くライブペイント作品の創作を中心に活動している。樹脂で固めたデッサンの「記憶の標本」は、見た人が「どこかで見たことがある」と思うような風景を描いているという。11月に展示会場の下見に訪れた際、市内を歩いて見つけた風景も取り入れた。インターネット交流サイト(SNS)で石崎さんと知り合ったことから、個展を開く運びになった。「ギャラリーよりも誰かの記憶がある所の方が面白い。自分にとって新たな試み」と陽草さん。今までは

を展示。1日1枚描くペースの公開もあり、多くの来場を呼び掛けている。23日まで、陽草さんは美術専門学校卒業。現在は絵画教室講師の傍ら、音楽に合わせて踊りながら、音楽を描くライブペイント作品の創作を中心に活動している。樹脂で固めたデッサンの「記憶の標本」は、見た人が「どこかで見たことがある」と思うような風景を描いているという。11月に展示会場の下見に訪れた際、市内を歩いて見つけた風景も取り入れた。インターネット交流サイト(SNS)で石崎さんと知り合ったことから、個展を開く運びになった。「ギャラリーよりも誰かの記憶がある所の方が面白い。自分にとって新たな試み」と陽草さん。今までは

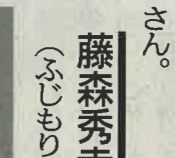
を展示。1日1枚描くペースの公開もあり、多くの来場を呼び掛けている。23日まで、陽草さんは美術専門学校卒業。現在は絵画教室講師の傍ら、音楽に合わせて踊りながら、音楽を描くライブペイント作品の創作を中心に活動している。樹脂で固めたデッサンの「記憶の標本」は、見た人が「どこかで見たことがある」と思うような風景を描いているという。11月に展示会場の下見に訪れた際、市内を歩いて見つけた風景も取り入れた。インターネット交流サイト(SNS)で石崎さんと知り合ったことから、個展を開く運びになった。「ギャラリーよりも誰かの記憶がある所の方が面白い。自分にとって新たな試み」と陽草さん。今までは

おくやみ 諏訪市 早瀬節朗氏 (はやせ・せつろう) 諏訪市豊田1914の9(小川)の9(小川)の14日午後10時死去。95歳。 葬儀は20日諏訪市中洲のえこうホール諏訪で近親者にて執り行った。喪主は長男の勲(いさお)氏。 木相村の早瀬家の長男。旧国鉄を定年退職後、玉木屋栗林商店に勤務した。妻の千代美さんと1男2女を養育。写真撮影に親しみ、孫5人、ひ孫6人の成長を楽しみにしていた。



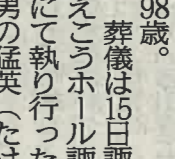
諏訪市豊田1914の9(小川)の14日午後10時死去。95歳。

喪主勲氏は中日諏訪オプト電子に勤務。喪主妻美枝子さんは家族と故人の介護に尽くした。長女美恵子さんは夫平田正男氏と木曾町福島在住。次女登美子さんは夫竹山正氏と松本市在住。孫は裕騎氏、伊藤佑美さん。



諏訪市湖南670(田辺)の16日死去。45歳。

藤森秀幸氏 (ふじもり・ひでゆき) 諏訪市湖南670(田辺)の16日死去。45歳。



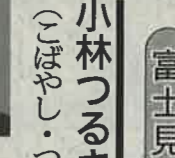
諏訪市湖南670(田辺)の16日死去。45歳。

高山國子さん (たかやま・くにこ) 諏訪市四賀2244の1(飯島)の8日午前8時30分死去。98歳。



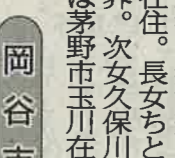
諏訪市四賀2244の1(飯島)の8日午前8時30分死去。98歳。

三井勝子さん (みつゐ・かつこ) 諏訪市大和1の15の6、18日午後6時死去。86歳。



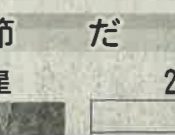
諏訪市大和1の15の6、18日午後6時死去。86歳。

小林つるさん (こばやし・つる) 富士見町境1832(先達)の19日午前7時55分死去。55歳。



富士見町境1832(先達)の19日午前7時55分死去。55歳。

中山茂子さん (なかやま・しげこ) 岡谷市内山4769の363、17日午後3時21分死去。84歳。



岡谷市内山4769の363、17日午後3時21分死去。84歳。

第33回諏訪写真展 入賞・入選者 【入賞】 諏訪写真連盟大賞「コトアウト」武井教一(岡谷市) 齋藤康一賞「天空の鏡」吉池征雄(岡谷市) 岡谷市長賞「残雪の絶景を満喫」中谷まり子(茅野市) 諏訪市長賞「桑の実熟れる」五味英吉(茅野市) 茅野市長賞「ひとときさんぽ」窪田治平(諏訪市) 下諏訪町長賞「冬物語り」久保田稔(上田市) 富士見町長賞「晴れ舞台」浜弘人(岡谷市) 原村長賞「お元氣様」大原英久(茅野市) 諏訪写真連盟会長賞「陽差しの中で」吉田久美子(愛知県) 【入選】 諏訪写真連盟会長賞2「道化師」竹前茂雄(須坂市) 信濃毎日新聞社賞「女がひとり」古屋治(下諏訪町) 長野日報社賞「はぐくむ」嶋田亨(岡谷市) 【市民新聞グループ賞】「猛嵐の日」大内勝(長野市) 〇エルシ「プイ賞」天馬山田宗彦(塩尻市) 〇セイコーエフソン賞「モークライン」岩島富雄(岡谷市) 〇長野県カメラ商組合賞「丘の滑り台」永田龍也(茅野市) 〇長野県カメラ商組合諏訪支部賞「スキップ」河西孝則(下諏訪町) 〇ヨドバシカメラ賞「支度」守屋寛次(茅野市) 〇堀内カラ賞「月夜のモンスター」鈴木真(長野市) 〇長野市シカラー賞「夕陽を浴びて」高橋和夫(岡谷市) 〇長野フジカラークリスタル賞「2019初日の出」若杉貞夫(下諏訪町) 〇ニコン賞「富士」小口金平(諏訪市) 〇フोटコン賞「落陽の刻」丸山祐司(松本市) 〇オノウエ印刷賞「ハッスル」牧秀治(茅野市) 〇田中パベル賞「秋香」吉田玲子(茅野市) 〇ネイチャー写真賞「美林の秋」唐澤收一(岡谷市) 〇ネイチャー写真賞「オオタカの子育て」島田正信(小布施町) 〇ネイチャー写真賞「木漏れ日」多田内豊秋(小松市)

【特別優】 神村健一(上野原市) 清水佳見(上野原市) 真一(以上、岡谷市) 雄、小松昭(上野原市) 秋、松木敏博(諏訪市) 浅原泰(諏訪市) 中山弘、遠藤隆(諏訪市) 内田美津(諏訪市) 原雅廣(以上、茅野市) 三智恵(富士市) 々々雅江(以上、茅野市) 真賞4「フ子舞」本市) 〇ネイチャー写真賞「小林邦人」

【優秀賞】 中山君夫(西上野原市) 榎井清山(上野原市) 弥平、松浦喬(上野原市) 澤嘉朗、山田由宮澤己代子、齊一、山崎清助(以上、山梨県) 益夫(以上、岡谷市) 戸谷英雄、小立戸谷英雄、松村麟一、朝一、松元久夫(諏訪市) 〇塚直人、牛山全(茅野市) 林常雄、小雄(以上、下諏訪町) 名取吉幸(以上、内豊秋、小松市)

【優秀賞】 中山君夫(西上野原市) 榎井清山(上野原市) 弥平、松浦喬(上野原市) 澤嘉朗、山田由宮澤己代子、齊一、山崎清助(以上、山梨県) 益夫(以上、岡谷市) 戸谷英雄、小立戸谷英雄、松村麟一、朝一、松元久夫(諏訪市) 〇塚直人、牛山全(茅野市) 林常雄、小雄(以上、下諏訪町) 名取吉幸(以上、内豊秋、小松市)

【優秀賞】 中山君夫(西上野原市) 榎井清山(上野原市) 弥平、松浦喬(上野原市) 澤嘉朗、山田由宮澤己代子、齊一、山崎清助(以上、山梨県) 益夫(以上、岡谷市) 戸谷英雄、小立戸谷英雄、松村麟一、朝一、松元久夫(諏訪市) 〇塚直人、牛山全(茅野市) 林常雄、小雄(以上、下諏訪町) 名取吉幸(以上、内豊秋、小松市)

【優秀賞】 中山君夫(西上野原市) 榎井清山(上野原市) 弥平、松浦喬(上野原市) 澤嘉朗、山田由宮澤己代子、齊一、山崎清助(以上、山梨県) 益夫(以上、岡谷市) 戸谷英雄、小立戸谷英雄、松村麟一、朝一、松元久夫(諏訪市) 〇塚直人、牛山全(茅野市) 林常雄、小雄(以上、下諏訪町) 名取吉幸(以上、内豊秋、小松市)

【優秀賞】 中山君夫(西上野原市) 榎井清山(上野原市) 弥平、松浦喬(上野原市) 澤嘉朗、山田由宮澤己代子、齊一、山崎清助(以上、山梨県) 益夫(以上、岡谷市) 戸谷英雄、小立戸谷英雄、松村麟一、朝一、松元久夫(諏訪市) 〇塚直人、牛山全(茅野市) 林常雄、小雄(以上、下諏訪町) 名取吉幸(以上、内豊秋、小松市)

季節 だ よ り

20日 17時 気象衛星

20日の気温

最	高	最	低
---	---	---	---

第33回諏訪写真展 入賞・入選者